

道徳学習指導案

平成30年11月16日（金）

第1学年

授業改善の視点

ロールプレイングを通して登場人物の心情を疑似体験させた上で、社会連帯の大切さについて話し合わせたことは、よりよい社会を築こうとする道徳的実践意欲を育てるために有効であったか。

- 1 主題名 「時と場に応じた行動」（中心内容項目C：社会参画、公共の精神）
（関連内容項目B：思いやり、感謝）

資料名 「島 耕作 ある朝の出来事」（出典：「自分を見つめる」あかつき）

2 主題設定の理由

（1）学びのつながり

本主題は、学習指導要領「特別の教科 道徳」の内容「C 主として人との関わりに関すること」の「社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。」に基づいたものである。

小学校 第5学年及び第6学年	勤労、公共の精神	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること。
中学校	社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

小学校の高学年の段階では、社会に奉仕することへの意義を理解し、公共のために役立つことをしようという意欲や態度をもつことについて学習してきた。中学校では小学校での指導内容をさらに発展させ、「社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。」を学習する。

ここでは本資料の原作となった「課長 島耕作」の一場面のセリフを活用することで、社会連帯の自覚について深く考え、社会の一員としてとるべき時と場に応じた言動について考えることの大切さを考えさせたい。

（2）ねらいとする道徳的価値について

社会生活を円滑にするためには、互いが相手の存在や独自性、個性を認め、相手の考えや立場を尊重することが大切であると考え。社会参画や社会連帯の自覚について考えるためには、他者のものの見方や考え方に触れ、開かれた心で他の意見から学んでいくことが、よりよい人間としての成長を促すために大切なことである。そのためには周囲への思いやりや配慮の気持ちをもって現状を把握し、時と場にふさわしい言動をとることができる社会性を育てていくことが大切だと考える。

中学校段階では、思春期の特性もあり、自分なりのものさしで社会や物事を見ていることか

ら他者に対する配慮を欠き、公の場で自己中心的な言動をとってしまうことも少なくない。しかし、本来自己中心的で身勝手な言動は良くないと思う心が内面には十分あり、誰もが望む社会実現について純粋に考えることもできる。

このことから、よりよい社会実現のために、互いに迷惑をかけることのないような言動を身に付け、どのような言動をとるべきかを主体的に考えようとする道徳的実践意欲を育てていきたい。

(3) 生徒の実態 (略)

(4) 資料について

この資料は「課長 島耕作」の一場面を扱ったものである。この資料の場面は朝の通勤ラッシュの車内である。満員電車の車内で苦しそうに立っているおばあさんの前で席に腰掛け、足を広げて新聞を読んでいるサラリーマンがいる。島耕作はサラリーマンに席をおばあさんに譲るように声を掛ける。しかし、サラリーマンが島耕作の申し出を拒否したことで口論となる。この資料には車内での状況説明が加えられ、状況が読み取り易く、席を譲るのか、譲らないのかという内容から、社会連帯の自覚について扱った資料であると読み取れる。

サラリーマンの言い分から考えると、サラリーマンは社会連帯の自覚をもっていないように思われる。しかし、視点を変えてみると、島耕作の言動は迷惑甚だしいことに気付く。このことから、本時においては島耕作とサラリーマンのやり取りから互いの言動は「迷惑」な行動と捉え、社会参画と公共の精神について考えさせられることから、社会の一員としての時と場に応じた言動のあり方について改めて考えられる資料である。

3 指導方針

- ・学習のテーマを知る場面では、既習の「バスと赤ちゃん」という資料で考えたことを想起させて、本時の主題に関する問題意識をもたせる。
- ・「課長 島耕作」の漫画のセリフを用いてロールプレイングを行うことで、登場人物のそれぞれの気持ちや満員電車内の状況、蔓延する雰囲気疑似体験させる。
- ・「課長 島耕作」の漫画のセリフを読ませることで、副読本の代用とする。
- ・小グループでの話し合いの場を設けることで、生徒にいろいろなもの見方や考え方に触れさせ、他者理解を深められるようにする。
- ・自分の意見の根拠を明確にするためにワークシートの記入の時間を十分に確保する。
- ・小グループでの話し合いの場や全体での意見交流の場を意図的に設定することで、生徒が多面的・多角的に考えられるようにする。
- ・小グループでの話し合いにあたって記入したワークシートを机の中にしまわせ、自分の考えたことを語り合えるようにする。
- ・ホワイトボードに記入する際は、全体に投げ掛けたいな、この意見おもしろいなと思う意見を書くよう指示する。
- ・発言を躊躇しがちな生徒には、友達に考えに対する共感や感想を発表するように促す。
- ・終末では今までの自分の生活を振り返らせ、本時の学習で学んだことや感じたこと、これからの自分にどう生かすかを書くように助言する。
- ・学校行事や学級活動の時間において、折に触れて社会参画の意義や実践意欲の大切さについて伝えていく。

4 校内研修との関わり

本校の校内研修主題・副主題は『進んで他者とかわり、よりよい生き方を追求する生徒の育成—「考え、議論する道徳」の指導の充実を目指して—』である。

本授業を通して社会参画と公共の精神について考えたり、時と場に応じた言動の在り方や相手のことを慮る謙虚な姿勢について考えたりすることができる。また、他者との意見交流や話し合い活動の場を意図的に設けることで、多様な見方や考え方に触れ、他者理解を深めさせることができる。

このことから道徳的価値についての理解を深め、多面的・多角的な見方や考え方ができるようになり、道徳的実践意欲も育つものとする。

5 本時の学習

(1) ねらい

「島 耕作 ある朝の出来事」の登場人物の言動から、社会の一員として公共の場における言動や社会連帯について議論することを通して、社会連帯の大切さに気付き、よりよい地域社会の実現に努めようとする道徳的実践意欲を育てる。

(2) 準備・資料

「課長 島耕作」に関するロールプレイングの台本 ワークシート 掲示資料 ホワイトボード

(3) 展開

	学習活動	主な発問(○基本発問・◎中心発問・●補助発問)と予想される生徒の反応(・) (期待される反応は _____)	時間	支援及び留意点
導入	1. 既習の内容を想起するとともに、本時のテーマを知る。	○既習事項の「バスと赤ちゃん」でどのようなことを考えましたか。 ・好ましい世の中にするには思いやりが必要。 ・勇気をもつことが必要。 ・一人でも迷惑だと思っていれば、 <u>よい世の中にはならない。</u> ・好ましい世の中は一人ひとりの優しさがあるからできる。 ・周りのみんなを支えて協力し合う。	2	・同じ内容項目の「バスと赤ちゃん」という資料を用いた授業で生徒が書いた振り返りを想起させる。また、社会参画について考えたことも想起させ、本時のテーマに対する問題意識をもたせる。 ・学習テーマを共有することで、生徒の意識を道徳的価値に向かわせる。
	社会の一員としての時と場に応じた言動について考えよう。			
展開	2. グループごとにロールプレイングを行い、ロールプレイングを通して感じたことを述べる。 ※公共の場で大切にしたい気持ちについて多角的に考え、他者と議論する。	○このやり取りで島耕作・サラリーマン・おばあさん・乗客はどのような気持ちになったでしょうか。 【島耕作】 ・許せない。 ・どうして席を譲ってくれないのか。 ・イライラする。 ・腹が立つ。 【サラリーマン】	10	・島、サラリーマン、おばあさん、乗客に分かれて役割演技をする。 ・それぞれの気持ちを口頭で確認する。 ・多くの意見を吸い上げられるように、自由発言にする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・言い方が許せない。 ・イライラする。 ・腹が立つ。 <p>【おばあさん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口論を辞めてほしい。 ・自分が原因になってしまってみんなに迷惑をかけてしまった。 <p>【乗客】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝から迷惑だ。 ・不快な気持ち。 ・腹立たしい。 ・うるさい 		
	<p>○電車内はどんな雰囲気だったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌な雰囲気。 ・重い雰囲気。 ・乗りたくないような雰囲気。 ・暗い雰囲気。 <p>●島耕作の言動をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勇気がある。 ・正しい判断をしている。 ・周りのことを考えている。 ・言い方が悪い。 ・ムキになりすぎだ。 ・自分勝手だ <p>●サラリーマンの言い分をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんに席を譲るべきだ。 ・自分勝手。 ・威圧的。 ・言い方が悪い。 ・サラリーマンも疲れているし、席を代われと言われるのは酷だと思う。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・島が正義、サラリーマンが悪という構図になることが予想されるが、そうとも言えないのではないかという考えをもてるようにする。 ・島耕作の言っていること、サラリーマンの言い分もそれぞれの立場からしたら間違っていないことに気付かせる。
3. この話の問題点を捉える。	<p>○この資料の問題点は何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島耕作の相手のことを考えない言動 ・サラリーマンの言動 ・相手の事情も分からずに席を譲るように強要してしまった点。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭で確認する。 ・公共の場で言動がふさわしくなかったことを確認する。
4. 社会連帯の自覚について考えを深める。	<p>◎だれもが気持ちよく過ごせる社会を築くためには何が大切なのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場を考えた言動。 	25	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを明確にさせるためにワークシートに記入させる。 ・話合いの場面では自分の

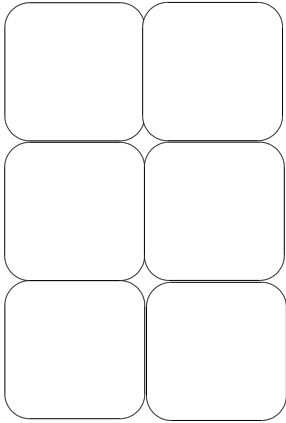
	<p>考え、議論する活動</p> <p>①個人の考えをもつ。 ②グループでの交流を通じて考えを広げる。 ③グループごとに発表を行い、学級全体で考えを共有する。</p> <p>道徳的価値の理解を深める</p> <p>※誰もが気持ちよく過ごせる社会を築くために大切なことについて多面的・多角的に考え、他者と議論する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えた言動。 ・思いやりのある言動。 ・相手をいたわる気持ち。 ・しっかりと状況を見る気持ち。 ・社会の一員としての自覚。 ・協力し合う気持ち。 ・安心感 ・助け合う気持ち。 ・励まし合う気持ち。 ・相手を認める気持ち。 <p>●誰もが気持ちよく過ごせる社会を築くためには何が大切なのか分かっているのに、どうして行動できないのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一歩を踏み出す勇気がでない。 ・自分から率先して行動するのはいやだから。 ・他の人と一緒にないと心配だから。 	<p>意見を記入したワークシートを机にしまわせ、自分の言葉で話せるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通して友達の見方に触れることでものの見方や考え方を広げる。 ・友達の見意見を否定的に聞くのではなく、受容的に聞くように助言する。 ・ホワイトボードに記入する際は、全体に投げ掛けたいな、この意見おもしろいなと思う意見を書くように助言する。 ・発表の際にホワイトボードに記入したことを補足説明させ、黒板に掲示させる。 ・必要に応じて発問を補足する。
<p>終末</p>	<p>5. 本時の学習を振り返る。</p> <p>道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。</p>	<p>○今までの自分の生活を振り返って感じたり考えたりしたことや、今日の授業で考えたことや思ったことを書きましよう。</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分との関わりで考えさせることで、道徳的価値について主体的に考えさせる。 ・社会連帯や公共の精神について生徒の考えを明らかにする。 ・書くポイントを示唆することで生徒が感想を書きやすくする。 <p>※今までの自分について ※今日の授業で感じたことや考えさせられたこと。 ※これからどう生かすか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数人に生徒に感想を発表させる。

(4) 評価の観点

- 「課長 島耕作」を通して、自分の生活を見直すとともに、「誰もが気持ちよく過ごせる社会を築くためには何が大切か」について考えることにより、社会連帯の大切さについての理解を、自分との関わりで深めたか。
- 「課長 島耕作」を通して、「誰もが気持ちよく過ごせる社会を築くために大切なこと」を考え、議論することにより、進んで社会と関わるためにどのような言動を取るべきかについて、多面的・多角的な見方ができていたか。

6 板書計画

ホワイトボード



◎だれもが気持ちよく過ごせる社会を築くためには何が必要なのだろう。

第24回道徳 ある朝の出来事

社会の「員」としての時と場に応じた言動について考えよう。

○ロールプレイを通して感じたこと

【島耕作】
イラスト

サラリーマン
イラスト

【電車内の雰囲気】
・嫌な雰囲気・重たい雰囲気
↳この電車内の問題点↳

【おばあさん】
イラスト

【乗客】
イラスト

第24回 道徳

○○君（○○○役）

課長 島耕作 ある朝の出来事（ロールプレイング台本）

場面は朝の満員電車の車内である。満員電車の中で、おばあさんが重そうなバックをぶらさげて、苦しそうに「はぁ はぁ はぁ」と荒い呼吸をしている。おばあさんの前には50歳くらいのサラリーマンが、おばあさんの様子を見て見ぬ振りをして、平然と新聞を広げて読んでいた。この様子を見ていた島耕作はサラリーマンの態度に大いに腹を立て、サラリーマンに話しかける場面である。

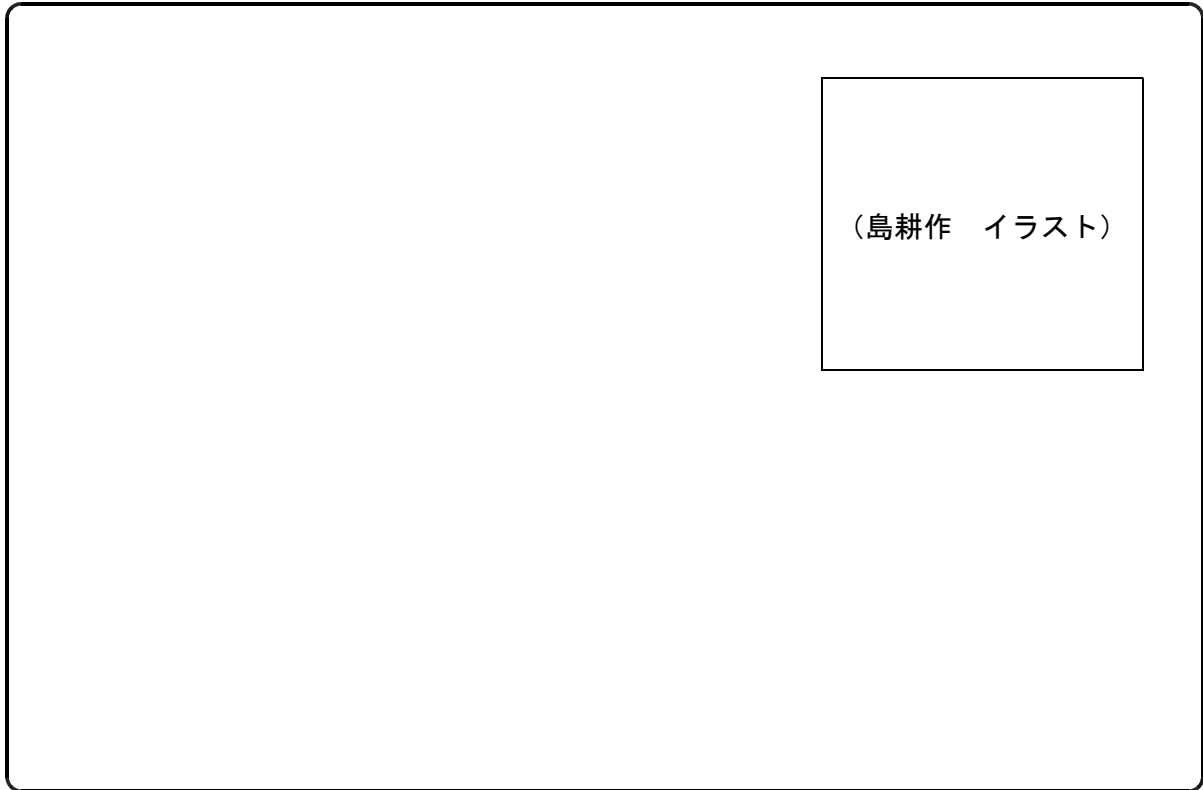
おばあさん	（満員電車の車内でおばあさんが苦しそうに荒い呼吸をしている。） 「はぁ はぁ はぁ」
島耕作	「大丈夫ですか。荷物をお持ちしましょうか？」
おばあさん	「あ、いえいえ、大丈夫です。すみません。」
おばあさん	（電車が急に揺れて、おばあさんはよろめいてサラリーマンにぶつかってしまう。） 「すみません。どうもすみません。」
島耕作	（おばあさんはぶつかったことに対して謝っているのだが、ぶすっとして返答もしないサラリーマンの無神経さに腹を立ててサラリーマンに声を掛ける。） 「ちょっと！」
サラリーマン	ん？
島耕作	（サラリーマンの態度に腹を立てながらサラリーマンに声を掛ける。） 「すみませんが、こちらのおばあさんが少し疲れていらっしやるようで、できましたら席をゆずってあげていただけませんか？」
サラリーマン	「冗談じゃない！疲れているのはこの老婦人だけじゃない私だって疲れているんだ！！あんたらが何時間寝たか知らないけど、私は昨日からずっと仕事で2時間しか寝ていないんだ！！人の事情も知らんで勝手なことを言わんでくれ！」
島耕作	「あなたが2時間しか寝ていないなんてそんなことは知ったことじゃないですよ！この満員電車の中でのうのうと新聞を広げて読んでいるくらいの元気があるのなら、席をかわってあげてもいいんじゃないかと思っただけですよ！！」
サラリーマン	「君！わたしはね、この電車の席を取るために始発駅のホームで20分も立って並んだんですよ！わたしには座る権利があるんだ！やっと手に入れた席を、たった今乗ってきた人に何でゆずらなきゃならないんだ！！」
乗客	（島耕作とサラリーマンの口論を耳にした乗客が反応する。） 「なんだ！なんだ！」
島耕作	「権利とかそういう問題じゃないでしょう！要するにあなたの気持ちのことを言っているんですよ！！」
サラリーマン	「あんたにそんなことをいわれるすじあいはない！！」
おばあさん	「お兄さん、もういいですよ。私立っているのは平気ですから。」
島耕作	「いや、よくないですよ！」
サラリーマン	「それにだね君！私にそんなことを言う権利が君にあるのか！おばあさんはひと言も私に席をゆずってくれなんて言っていないじゃないか！それを他人のあんたが、なぜごちゃごちゃ言うんだ！」
サラリーマン	（サラリーマンは開き直っておばあさんに話しかける。） 「おばあさんは、私が苦勞してやっと手に入れた席に座りたいですか？」
おばあさん	「いえいえ。私はもう、ここで結構で……。ありがとうございます。」
サラリーマン	「ほら見ろ！あんたのおせっかいじゃないか！！」
島耕作	「おばあさん遠慮せずに座ってください。ここで辞退されたんじゃ、わたしの立場がないんだ。」

(漫画「課長 島耕作」より一部改変)

「島耕作 ある朝の出来事」

1年 組 番 名前

◎だれもが気持ちよく過ごせる社会を築くためには何が大切なのだろう。



(島耕作 イラスト)

◎今までの自分の生活を振り返って感じたり考えたりしたことや、今日の授業で考えたことや思ったことを書きましょう。

